「総合実践」シラバス

学科	商業科	学年	3 年	類型		組	5 組	単位数	3
使用教科書	総合実践「学習の手引き」(本校商業科作成)								
副教材等									

1 学習の到達目標

- (1) 商業活動を実践的に行うことにより、それに関する商業諸科目で学習した知識・技能・態度を総合的に組立ながら、ビジネス諸活動を主体的かつ合理的に遂行する能力と態度を身に付ける。
- (2) ビジネス諸活動の実践的な経験を経て各自の個性に適した職業を選び、社会に役立つための人間となれるよう、対応の仕方・敬語の使い方など接遇マナーを積極的に身に付け、職業人としての資質を養う。

2 学習評価

次の四つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、100点法で評価し、学年末に5段階の評定に総括する。

①関心・意欲・態度	商業科目の学習に広く関心を持ち、その意義や役割の理解及び諸問題の解決を目指して、主体的に学習に取り組んでいるか。				
②思考・判断・表現	売買に関する基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けているか。				
③技能	経済社会の一員としての接遇マナーや仕入・販売に関する諸活動を適切に実践することができるか。				
④知識・理解	起票や記帳方法など商業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、商業の意義や役割を理解しているか。				
観点	①	②	③	④	備 考
学習状況の観察	A	B	B	A	「書式」「進度表」への押印
営業日誌への記入	A	—	B	C	授業時間の最後に提出・押印
帳簿の整理	B	A	—	A	各学期に1回提出
決算書類提出	B	A	—	A	学年末に提出
ペーパーテスト	A	B	C	A	定期考査(1・2学期)
出席の記録	A	—	A	B	毎時間、各自が出勤簿に押印

※ 表中のA・B・Cは評価の重要性を高い順に表している。

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期	第1章 目標と心構え 学習の心構えと職場のマナー 第2章 演習Ⅰ 第1節 接遇 第2節 基本取引 第3章 演習Ⅱ 第1節 取引活動の要領 第2節 取引活動Ⅰ (同時同業)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の目的を正しく理解し、正しい言葉遣いや良いマナーを身に付ける。 ・敬語の正しい使い方や、電話による対応の仕方を正しく理解する。 ・販売実習を行うことで正しい言葉遣いやマナーを身に付ける。 ・一連の商品売買の業務を実務的に行い、活動に必要な基礎的・基本的な知識と技術を総合的に身に付ける。
二 学 期	第4章 演習Ⅲ 第1節 取引活動Ⅱ (自由取引) (1) 仕入取引 (2) 販売取引 (3) 商事会社の利用 (4) 運送会社の利用 (5) 倉庫会社の利用 (6) 銀行の業務と利用 (7) 月末の処理 (8) 販売演習	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、実行し、自らの力で解決するという自主的な学習活動を行い、業務を合理的・能率的に処理する能力と態度を養う。 ・各種の文書や帳簿などの記入に際しては、正確・迅速・丁寧に処理する能力と態度を身に付ける。 ・関係する機関部との手続きや作成する書式についての内容や役割を正しく理解する。
三 学 期	第5章 演習Ⅳ 第1節 決算 (1) 決算の手続き (2) 財務諸表の作成 (3) 経営分析 (4) 課題研究	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の内容や手順を十分に理解した上で、個々の仕事が全体の企業経営にどのように結びついているのかを考えながら、執務する。 ・財務諸表作成方法を正しく理解するとともに、計数を分析して、経営活動を評価する能力を養う。